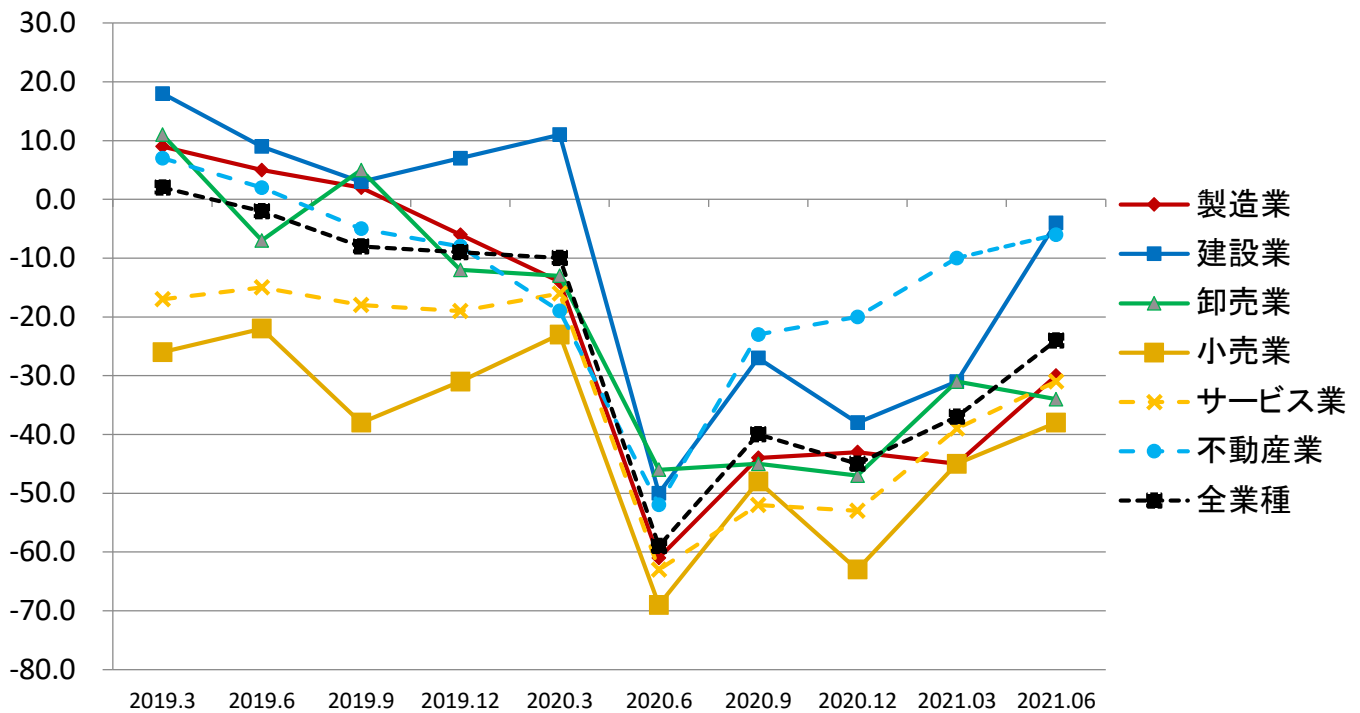


福生市商工会 経営だより

1. 多摩地域の小規模企業業種別業況判断DIの推移



※製造業・建設業は19人以下を、卸売業・小売業・サービス業は4人以下を小規模企業としています。
出典：多摩信用金庫 多摩けいざい No.97

2. 業況判断DIの分析

2021年の6月期では、新型コロナウイルス感染拡大による企業活動の抑制から回復が見られ概ねプラスになっています。12月期から6月期に限ってみると卸売業を除く全ての業種が回復傾向です。特に建設業が27ポイント、製造業が15ポイント、サービス業が8ポイントの増加になっており、期待が持てる状況です。建設業はワクチン接種や感染予防対策がある程度定着化し、コロナ前の水準に近づいています。しかしながら、夏休み期間の緊急事態宣言で回復傾向に水が刺されることが想定され、引き続き厳しい状況であることに変わりはありません。

オリンピックの在宅感染の影響で、飲食業のデリバリーサービスが好調であることは報道のとおりで今後の動向が注目されています。

3. 中小企業診断士の一言

10月には緊急事態宣言や蔓延防止等特別措置が全国で一斉に解除され、一部で規制はあるものの全面的に人流が増加する見込みです。経済の活性化が予想できますので、感染対策を徹底しながら、新しい商いの形をしっかりと準備し対応していきましょう。経済の回復と並行して、国・地方自治体も必要な支援を準備する見込みで、現在の月次支援金、雇用調整助成金も一定期間は継続されることが報道されています。商工会では経営相談を実施しております。必要な支援や新しい形の商いへの対応方法など気軽にご相談ください。

4. 主要業界のトレンド

【全体】

緊急事態宣言が全面的に解除され、多くの人流の回復が見込まれます。今まで我慢していた消費意欲が発散されることが期待されている一方で、購買意欲にも変化があります。新しい生活様式の意識が定着化していますので、コロナ前とは少し異なった対応が必要となります。従業員の罹患可能性が高まっています。罹患時の対応方法なども事前に準備し、慌てずに対応するようにしましょう。

【製造業】

引き続き半導体不足で多くの業種に影響が出ています。他方ではアメリカや中国の経済回復の影響で原材料が高騰するなど思わぬ波紋が広がっています。原価管理を着実にを行うとともに、必要な融資なども活用し難局を乗り越えて行きましょう。

【サービス業】

国内の有名テーマパークが値上げを行いました。これはダイナミックプライシングという手法で、混んでいるときは料金を高く、比較的空いているときは料金を安くする方式を採用しています。小規模の事業者であってもサービスの繁閑差をいかに平準化し、機会損失を産まない工夫が求められる中で、ダイナミックプライシングは一定の効果が期待できます。まずはしっかり料金表を作成して事業者が迷うことが無いように準備しましょう。

【小売業】

緊急事態宣言解除により、店舗に人流が戻ってくるが見込まれます。感染対策が万全であるかを再度確認しましょう。来店客の中にはコロナ対策の対応レベルで入店するか否かの判断をする者もいます。店舗の外に感染対策が行われていることを訴求することも重要な工夫の一つになります。飛沫防止シートの影響で声のやり取りが聞こえづらくなることも想定した接客を心がけましょう。

【建設業】

建設現場ではコロナ対策が定着化し、もともと感染リスクが高くないこともあり堅調に回復しています。現場作業員の高い意識を継続するための研修や情報共有などをしっかり行いましょう。仕事終わりの懇親会も再開できそうな状況ですが、そこでも気を抜かずに感染予防対策を実践するよう指導を継続しましょう。

感染予防対策で水拭きしやすい壁紙やタイルなどの需要が高まっています。必要な資材の確保も早めに始動した方がよい状況となっています。

5. 小さな企業の新たな取組みのためのヒント

10月からは急速に経済が回復することが見込まれます。そのため新規顧客の獲得可能性も高まっています。新規顧客をいかにリピータにするかが売上向上にはもっとも重要なポイント（新規顧客の獲得よりは既存顧客への購買勧奨の方が広告費は安価になるため）になります。一度捕まえた顧客にしっかり自社の良いところをしっかりとアピールできるように、店内等に置くチラシ・パンフレットや通行人が外観から訴求内容が把握できるような看板等の整備も怠らないようにしましょう。広告宣伝費を中心に必要な経費の半分を補助する「小規模事業者持続化補助金」という補助金もあります。ご興味がある方は、商工会にご相談ください。